

2009年9月28日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

別子地区における人材開発センター「王子館」「星越館」の開設について

当社はこのたび別子地区（愛媛県新居浜市）に人材開発センター「王子館」を建設し、本年10月1日に竣工することといたしました。さらに「王子館」に隣接する「別子住友倶楽部」を改修し、新たに「星越館」と命名した研修施設を来年4月1日にオープンする予定です。

当社は「非鉄メジャークラス入り」を中長期の戦略目標として掲げていますが、そのためには「ものづくり力の向上」が重要な課題となります。そこで従来の人材育成の取り組みをより体系的かつ機能的なものにする狙いから、本年4月1日に人事部の下に人材開発センターを設置し、さらにこのたび人材開発センターが運営する施設として、体験型研修施設である「王子館」と多目的研修施設である「星越館」を開設することといたしました。開設場所は、当社の主力工場や関係会社が集中する愛媛県新居浜市です。

この内「王子館」は、「危険体感ゾーン」と「設備技能養成ゾーン」で構成し、「危険体感ゾーン」では、作業員自らが日常作業に潜む危険性の疑似体験を通じて、労働安全や労働衛生に対する感受性を高めること、一方の「設備技能養成ゾーン」では、現場の実機やカットモデル等に作業員が実際に触れたり操作することによって、設備や装置に強いオペレーターを育てることを目的としています。ふたつのゾーンには館長および5名の専任講師陣を配し、これを全社、全グループの現場の管理・監督者、ベテラン社員から成る準講師で補佐し、準講師の層を厚くしていくことによって、全体のものづくり力の強化にも結びつけていくことにしています。本年10月1日（木）午後1時半から竣工式を行い、運用を開始する予定です。

「星越館」は王子館に隣接する「別子住友倶楽部」を、社員教育を中心に各種会合にも利用できる多目的研修施設としてリニューアルし、2010年4月1日から運用を開始する予定です。別子住友倶楽部は、元々は住友グループ各社の福利厚生施設として昭和11年に竣工した古い建物ですが、現在は当社が運営し、主に社員の研修施設として利用してきました。しかし建物の老朽化が進み、研修所としての利便性や機能面での問題も抱えていました。改修にあたっては、利便性や機能面だけでなく、歴史的建築物としての風格を損なわないよう十分に配慮して進めてまいります。

別子地区は、元禄の別子銅山開坑以来の歴史や文化、遺構が色濃く残る地域であり、従来から先人の労苦の跡を偲びながら、住友の事業精神を学ぶ場として、これらの産業遺産群を肌で感じる研修を社員教育にも活用してまいりました。これに今回の「王子館」「星越館」の2つの研修施設を加え、企業文化から技能までを同時に吸収できる研修システムを構築し、「ものづくり力」の強化を継続的に推進してまいります。

(本件に関するお問い合わせ先)

広報 IR 部 大場浩正

TEL 03-3436-7705

< 参考資料 >

1 . 所在地

愛媛県新居浜市王子町 3 番 7 号

2 . 施設のコンセプト

建築面積 1,254.6 m²(王子館本体 1,221.2 m² カポート 33.4 m²)

延床面積 1,924.2 m²(王子館本体 1,890.8 m² カポート 33.4 m²)

鉄骨 A L C 構造 2 階建て

建物の半分は 2 階吹き抜けのクレーン走行スペースとし、高さを要する玉掛けや高所作業の危険体感設備を配置しています。残り半分は 2 階建てとし、1 階部分にはその他の危険体感設備を設け、2 階部分を中心に設備技能習得に必要な設備を設けます。

3 . 投資額

約 10 億円 (王子館、星越館トータル)

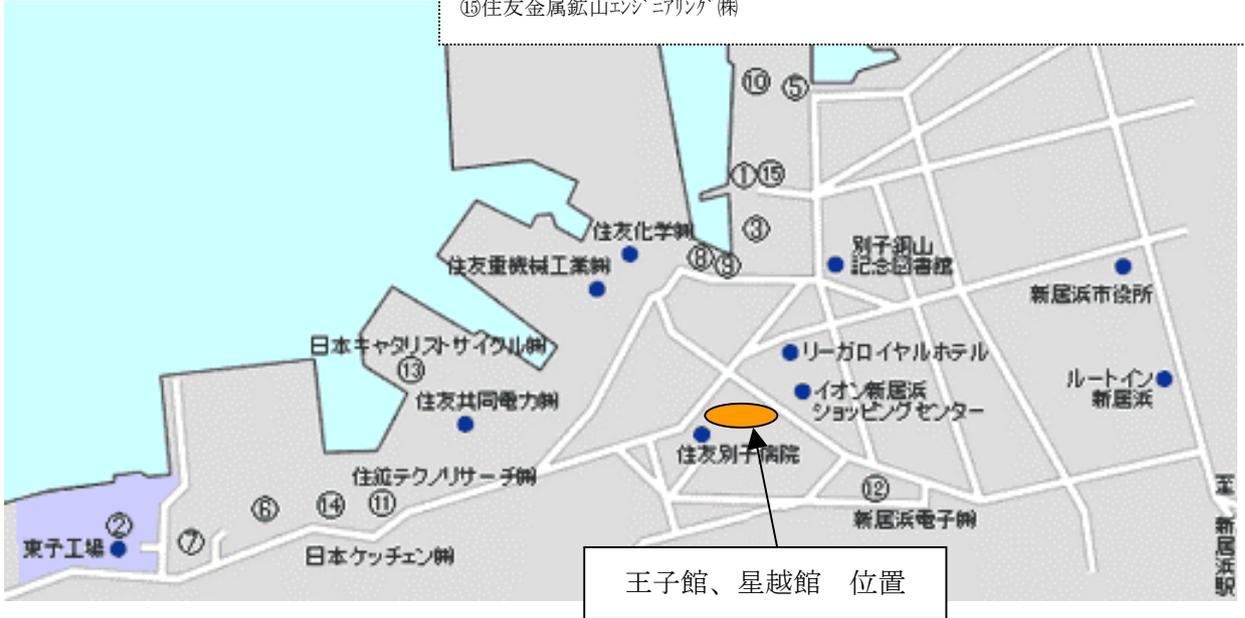
4 . 施設の位置図、写真

別添

以 上

<添付資料>

1. 位置図 1 (新居浜市沿岸部)



2. 位置図 2 (新居浜市王子町付近)



3. 写真1 (王子館)



4. 写真2 (星越館 = 別子住友倶楽部)

